

肝炎情報センター活動報告 ー 令和3年度に向けて



国立国際医療研究センター
肝炎・免疫研究センター
肝炎情報センター

考藤 達哉



令和2年度の活動

肝炎情報センター

- 情報発信

- ホームページ・コンテンツの充実
- 肝炎医療ナビゲーションシステム（肝ナビ）運用
- 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業（指定医療機関）への対応

- 連携強化

- 拠点病院活動現状調査と結果の共有
- 肝炎対策地域ブロック戦略会議の開催

- 研修充実

- 研修会の充実とアーカイブ資料提供
- 肝疾患患者相談支援システム運用

肝炎情報センターHP

国の肝炎総合対策

肝炎情報センターとは

ユーザ別で探す

カテゴリ別で探す

資料庫

肝炎情報センターの
ミッション(使命)

連携 — 肝疾患診療連携拠点病院とともに
情報 — 肝疾患診療のソフトウェア・リソース
研修 — 明日の肝疾患診療・相談業務に活かす

拠点病院と相談・支援センターを探す

ユーザー別で探す

一般・患者の方へ

保育関係者の方へ

高齢者施設の方へ

働く方へ

産業保健関係者の方へ

医療関係者の方へ

肝疾患診療連携拠点病院関係者の方へ

カテゴリ別で探す

センターの取り組み

全国の拠点病院の紹介と
取り組み

都道府県・市町村の取
組み

病気について

医療・福祉の制度やサービ
ス

日常生活の場での注意点

B型肝炎の母子感染につ
いて

関連主要通知・診療ガイド
ライン等

新着情報

研修会・連絡協議会

拠点病院の取り組み

一覧

- 2019年6月21日 「病気についての情報」が改訂されましたのでお知らせいたします。
- 2019年6月14日 日本肝臓学会「C型肝炎治療ガイドライン（第7版）」が、2019年6月公表されましたのでお知らせいたします。（外部サイトにリンクします）
- 2019年3月27日 平成31年3月27日、厚生労働省健康局がん・疾病対策課から「肝炎治療特別促進事業の実施上の取組」について、一部改正についての通知が発出されております

新着情報

- 厚労省からの通知
- 肝臓学会からの情報提供
- 新薬保険承認情報など

肝炎情報センター
facebook

知って肝炎
Hepatitis 1000 Again

肝ナビ
肝炎医療ナビゲーションシステム

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

肝疾患診療連携拠点病院の
現状調査結果
(平成21年度～29年度)

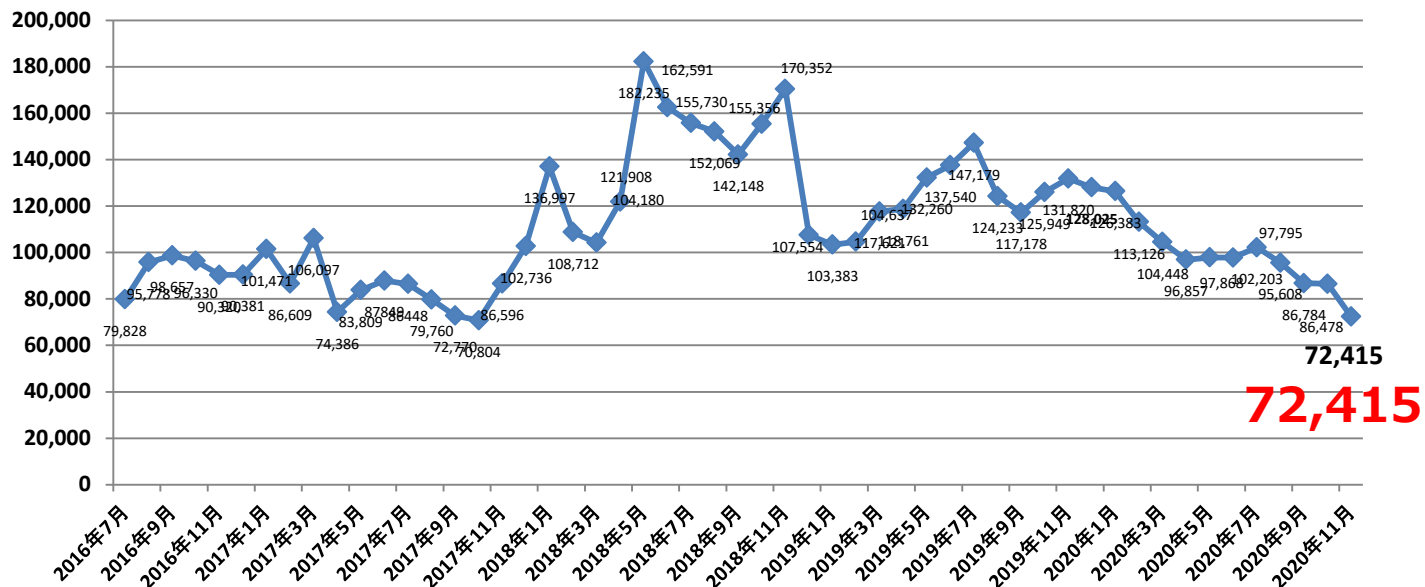
参加型プログラム 誰でも簡単にできる
肝炎体操

拠点病院と肝疾患相談 センターHP紹介

- FB/拠点病院の啓発・研修活動紹介
- 肝ナビ
- 現状調査まとめ
- B型肝炎教育資材
- 肝炎体操

肝炎情報センターHP

ページビュー数の推移（月単位） 2016.7～2020.11



コンテンツ分析（2020年11月）

順位	ページタイトル	ページビュー数	割合	ページ別訪問数	平均ページ滞在時間	直帰率
1	B型肝炎ウイルス検査について	11334	15.65%	10140	265.64	86.99%
2	B型肝炎	7524	10.39%	6727	270.19	84.32%
3	C型肝炎	7356	10.16%	6547	290.96	85.00%
4	C型肝炎の給付金について	5827	8.05%	4341	205.52	72.25%
5	急性肝炎	5230	7.22%	4597	339.56	86.88%
6	肝硬変	4188	5.78%	3682	287.92	86.75%
7	非アルコール性脂肪性肝疾患	2556	3.53%	2322	357.13	90.29%
8	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター 肝炎情報センター	2455	3.39%	1583	57.71	41.52%
9	B型肝炎の給付金について	2407	3.32%	2028	168.73	79.34%
10	C型肝炎ウイルス検査について	2061	2.85%	1863	208.57	85.23%
11	アルコール性肝疾患	1709	2.36%	1416	166.47	76.28%

疾患情報の充実（2020年度改訂済）

[国の肝炎総合対策](#) | [肝炎情報センターとは](#) | [ユーザー別で探す](#) | [カテゴリー別で探す](#)

[↑ トップページ](#) > [ユーザー別で探す](#) > 一般・患者の方へ

 ユーザー別で探す

[一般・患者の方へ](#)

[保育関係者の方へ](#)

[高齢者施設の方へ](#)

[働く方へ](#)

[産業保健関係者の方へ](#)

[医療関係者の方へ](#)

[拠点病院関係者の方へ](#)

 カテゴリー別で探す

[センターの取り組み](#)

[全国の拠点病院の紹介と取り組み](#)

[都道府県・市町村の取り組み](#)

[病気について](#)

一般・患者の方へ

病気・治療についての相談

- [肝疾患相談・支援センター](#)
- [肝疾患診療連携拠点病院](#)

それぞれの肝臓病についての情報

それぞれの肝臓病についての情報では、肝臓の病気について

- [急性肝炎](#)
- [B型肝炎](#)
- [C型肝炎](#)
- [非アルコール性脂肪性肝疾患](#)
- [アルコール性肝疾患](#)
- [肝硬変](#)
- [肝がん](#)
- [その他の肝臓病](#)

執筆者（敬称略）

- | | |
|------|-----|
| • 泉 | 並木 |
| • 江口 | 有一郎 |
| • 榎本 | 信幸 |
| • 考藤 | 達哉 |
| • 茶山 | 一彰 |
| • 八橋 | 弘 |

スマホなら現在地から
最寄りの病院が
すぐに見つかります

※現在位置検索はGPS機能が必要です

対応デバイス
・パソコン
・スマートフォン
・タブレット
・携帯電話(フィーチャーフォン)

肝炎は
早期発見が大切です

肝炎医療ナビゲーションシステム

全国 27,000 件以上

肝炎ウイルス検査ができる病院をウェブで検索

全国 27,000 件以上 ※登録件数は2018年4月時点のものであり順次拡張いたします

<https://kan-navi.ncgm.go.jp>

まずは検査から 肝炎検査ができる病院を検索

肝炎医療ナビゲーションシステム

国立研究開発法人 国立感染症研究所 肝炎情報センター

・国土地理院のマップ情報が使われています。・マップエンジン (casium) は東京大学・渡邊義徳研究室の成果物を拡張使用しております。
・イメージは予告なく変更することがあります。・旧式のPCやデバイスの設定環境によりマップが表示されない場合があります。

- ・ 肝炎情報センターHPに設置
- ・ 肝炎ウイルス検査ができる病医院、肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業の指定医療機関（1403件、2020/12/1現在）をウェブで検索できるシステム
- ・ 対応デバイスは、PC、スマートフォン、タブレットなど
- ・ GPS機能で、現在地の最寄りの施設を検索可能

全国 肝炎医療ナビゲーションシステム

地域から探す

詳細情報

<https://kan-navi.ncgm.go.jp>

<https://kan-navi.ncgm.go.jp>

肝炎医療ナビゲーションシステム ホームページ アクセス数

(件数)

1,200,000

1,000,000

800,000

600,000

400,000

200,000

0

2018.7~2020.11

7月 9月 11月 1月 3月 5月 7月 9月 11月 1月 3月 5月 7月 9月 11月

2018 2019 2020

45,917

238,289

404,378

663,029

629,492

630,948

579,869

612,874

682,247

354,594

493,423

549,743

430,398

504,240

442,049

500,555

442,622

560,535

494,256

325,616

318,700

475,403

657,127

670,952

951,135

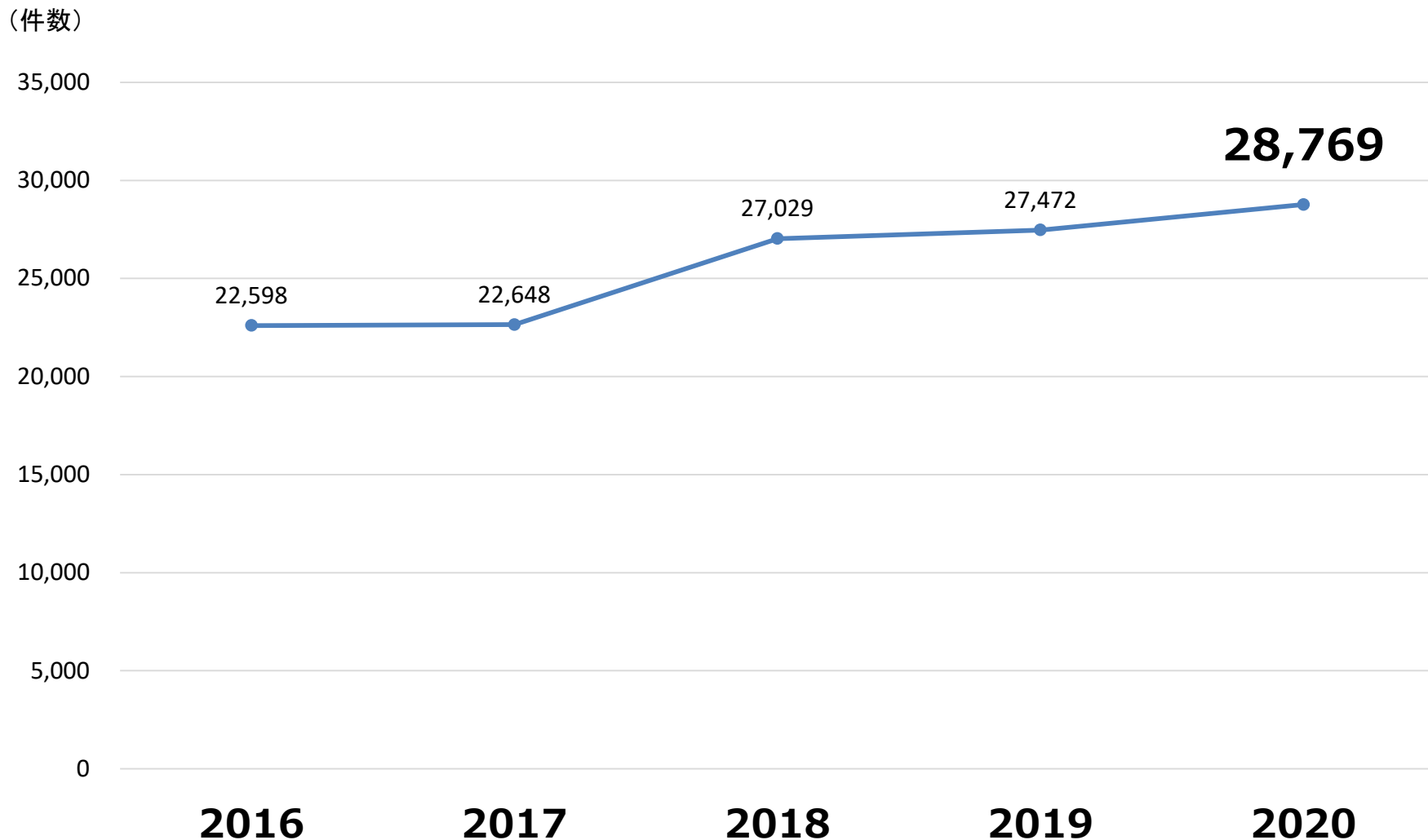
822,125

972,000

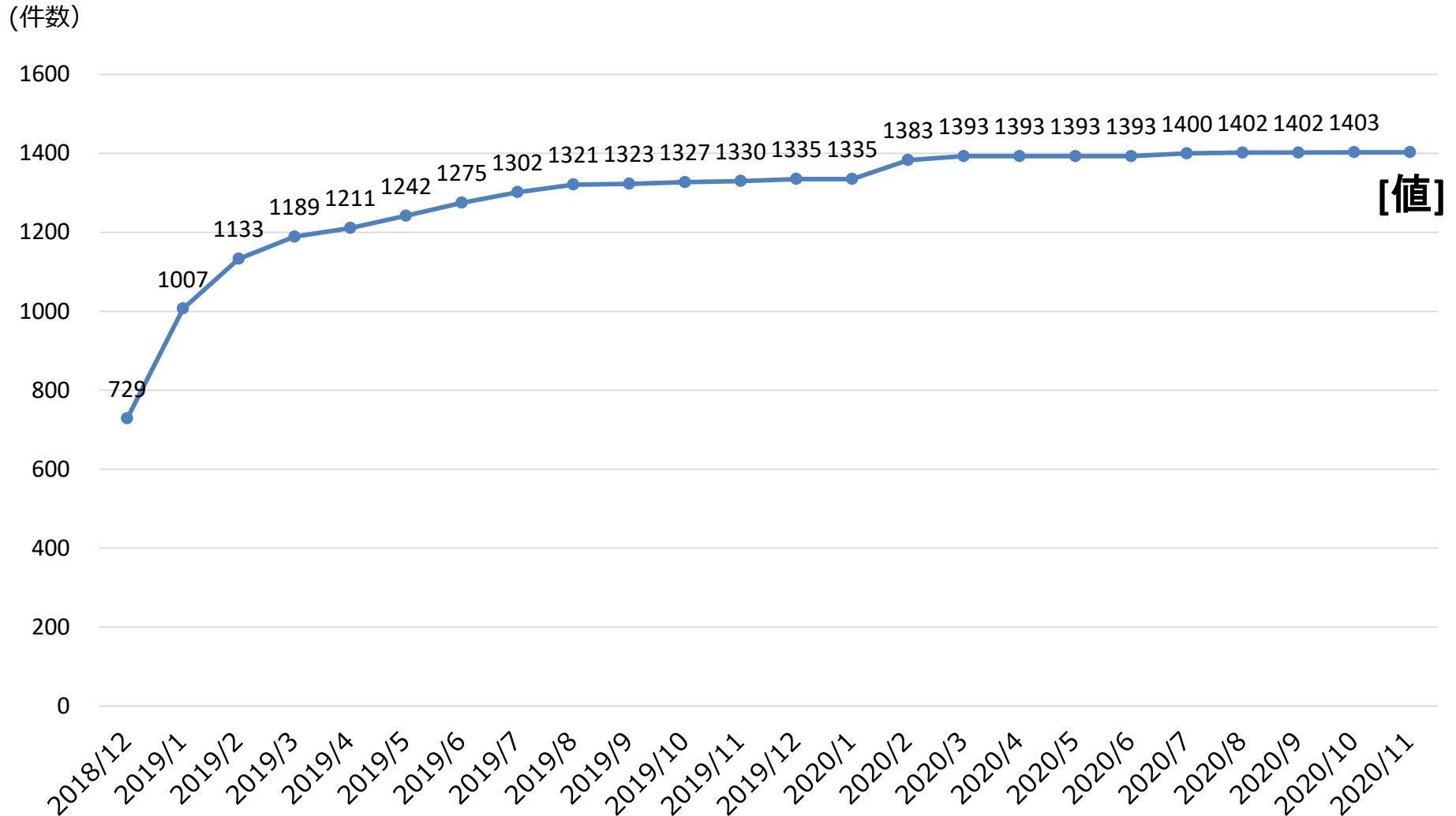
1,087,308

900,025

肝炎医療ナビゲーションシステム ウイルス肝炎検査指定医療機関の登録数



肝炎医療ナビゲーションシステム 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業の 指定医療機関登録数



令和2年度肝炎対策地域ブロック戦略会議

○参加者：拠点病院、都道府県、肝炎対策推進室、肝炎情報センター

○全国を6ブロックに分けて、肝炎対策に係る各地域での課題解決に資する情報提供、連携協力体制構築などに資する会議を開催するもの

○令和2年度 世話役（敬称略）

井上	淳（東北大学病院）
加藤	直也（千葉大学医学部附属病院）
清水	雅仁（岐阜大学医学部附属病院）
井田	良幸（和歌山県立医科大学附属病院）
島田	光生（徳島大学病院）
遠藤	美月（大分大学医学部附属病院）

COVID-19のため WEB開催

令和3年度も同じ世話役の
先生方に依頼済



肝疾患診療連携拠点病院の現状調査

国立研究開発法人国立国際医療研究センター 肝炎・免疫研究センター 肝炎情報センター

○令和元年度分につき、令和2年7月に調査し71拠点病院から回答を得た（一部、未回答項目あり）。

○過去の調査結果との比較も行った。

平成21年度（平成22年 5月に調査）	： 55病院から回答
平成22年度（平成23年 7月に調査）	： 66病院から回答
平成23年度（平成24年12月に調査）	： 70病院から回答
平成24年度（平成25年12月に調査）	： 70病院から回答
平成25年度（平成26年10月に調査）	： 70病院から回答
平成26年度（平成27年9月に調査）	： 70病院から回答
平成27年度（平成28年7月に調査）	： 70病院から回答
平成28年度（平成29年7月に調査）	： 70病院から回答
平成29年度（平成30年7月に調査）	： 70病院から回答
平成30年度（令和元年7月に調査）	： 71病院から回答
令和元年度（令和2年7月に調査）	： 71病院から回答



調査項目（全92項目*） *平成27年度以前は全37項目

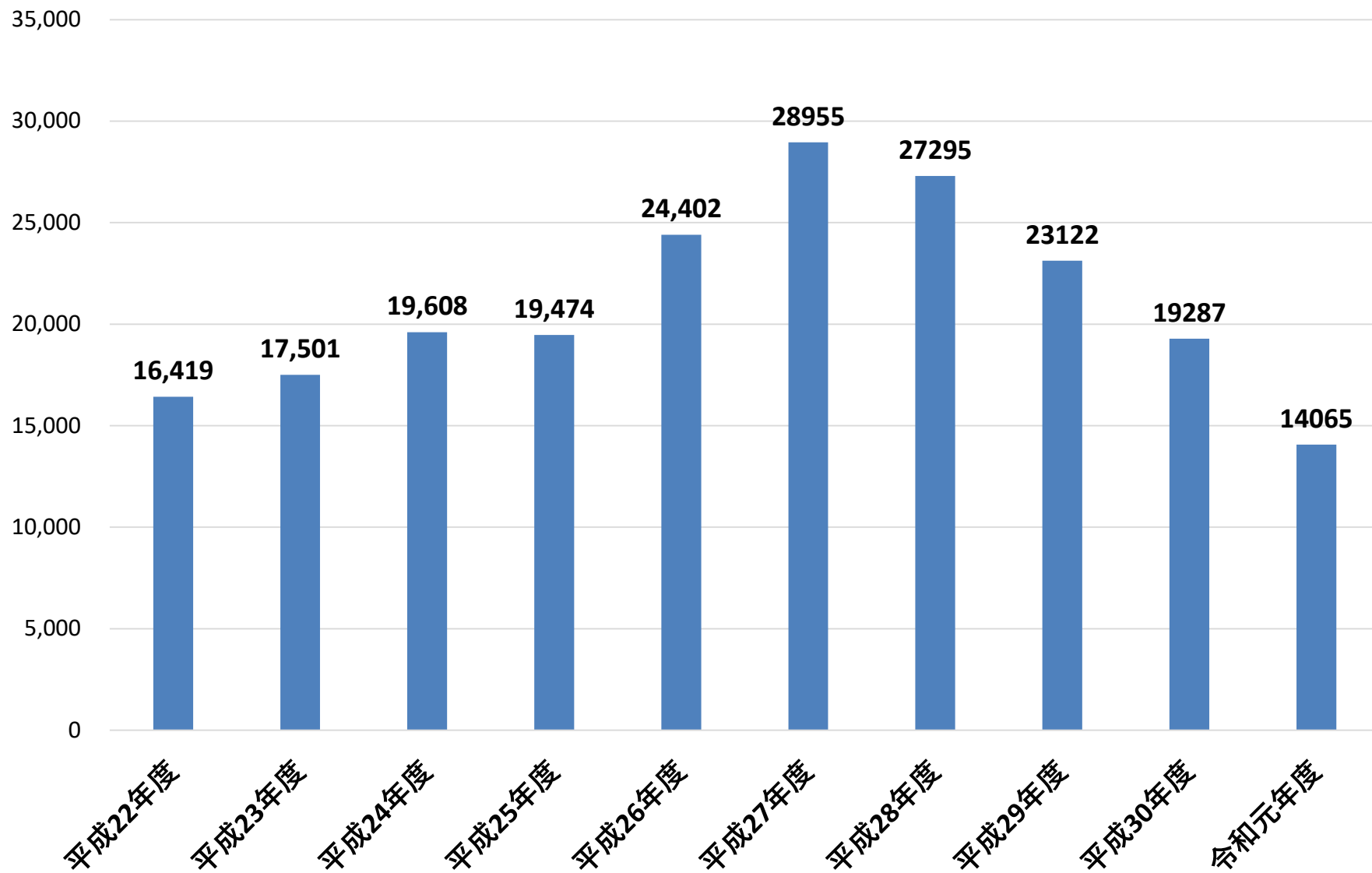
◎ 調査項目の概要

- 1)施設に関する基本情報・・・HPの有無、専門医数
- 2)患者支援・・・相談支援センター、肝臓病教室、家族支援講座、就労支援、肝炎医療コーディネーター
- 3)研修事業・・・連絡協議会、医療従事者研修（肝炎専門、一般）
- 4)啓発事業・・・市民公開講座、その他の啓発（ポスター、イベントなど）
- 5)その他・・・クリニカルパス、陽性者アラートシステム他

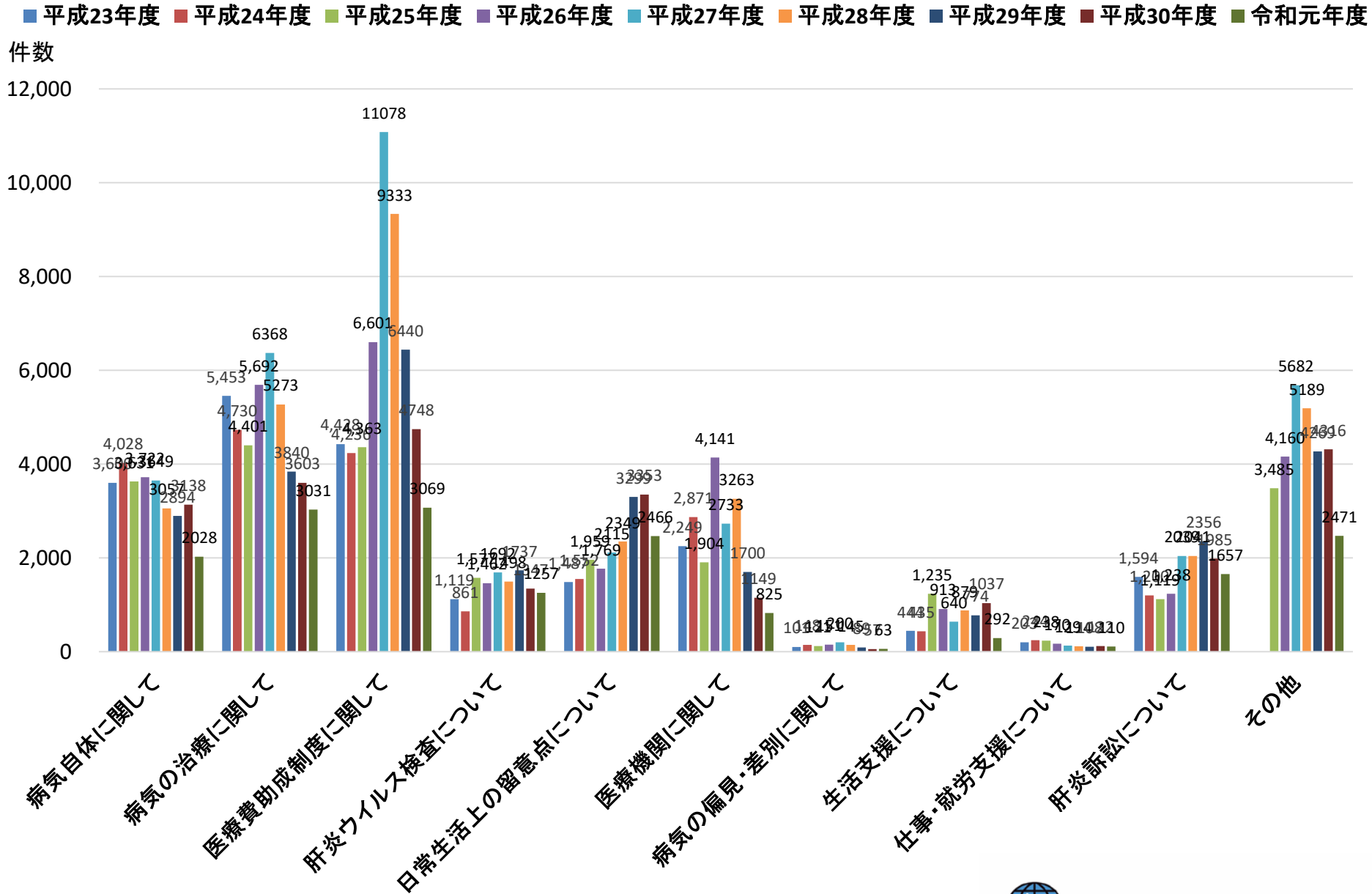
1. 市民公開講座	
1) 市民公開講座の実施	☐ あり ☐ なし
「あり」にチェックした場合、その実績	
①実施回数：（ ） 回/平成30年度1年間	
②参加者総数（のべ）：（ ） 人/平成30年度1年間	
③参加者： ☐ 地域住民 ☐ かかりつけ医・開業医 ☐ 事業主（担当者含む） ☐ 一般企業・保険組合 ☐ 保健師 ☐ 患者・患者家族 ☐ その他（ ）	
④告知・広報の方法： ☐ 貴施設のHP ☐ 院内掲示板に掲示 ☐ 病棟や外来診療室で告知・広報 ☐ 医師会に周知依頼 ☐ 都道府県に周知依頼 ☐ その他（ ）	
上記で「あり」をチェックした場合、以下について教えてください	
①他の団体との共催等の有無： 「あり」の場合その団体： ☐ あり ☐ なし ☐ 市区町村 ☐ 都道府県医師会 ☐ 市区町村医師会（都市区等医師会） ☐ その他（ ）	
②市民公開講座の効果： 「あり」の場合その内容： ☐ あり ☐ なし ☐ わからない 記載例） 相談件数が増えた、電話問い合わせが増えた、受診患者が増えた、紹介患者数が増えた、等 ← 本文を削除して記載してください	

相談件数

相談件数



相談内容



肝臓病教室の実施回数

回数

70

60

50

40

30

20

10

0

■ 4回以上

■ 3回

■ 2回

■ 1回

平成22年度

平成23年度

平成24年度

平成25年度

平成26年度

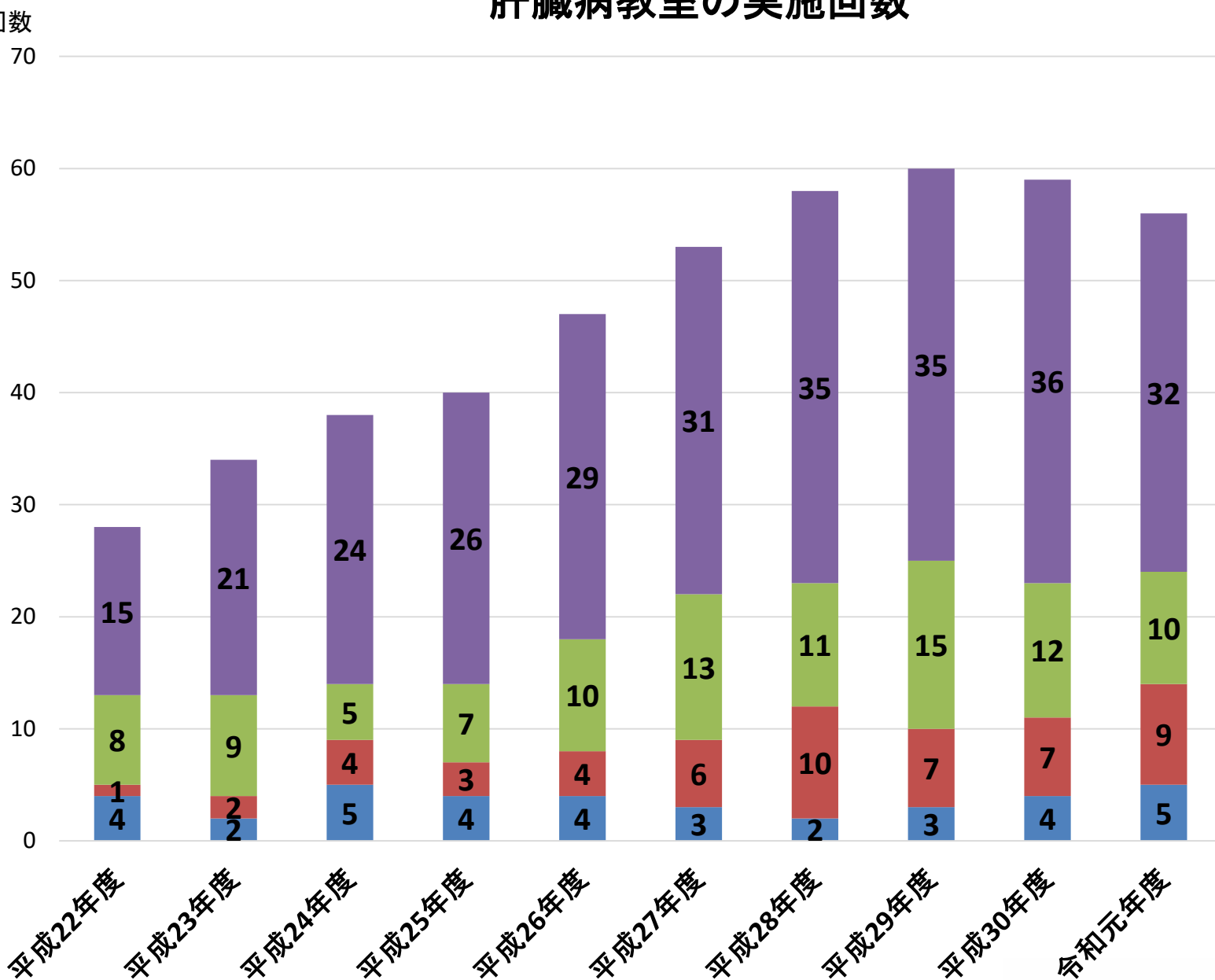
平成27年度

平成28年度

平成29年度

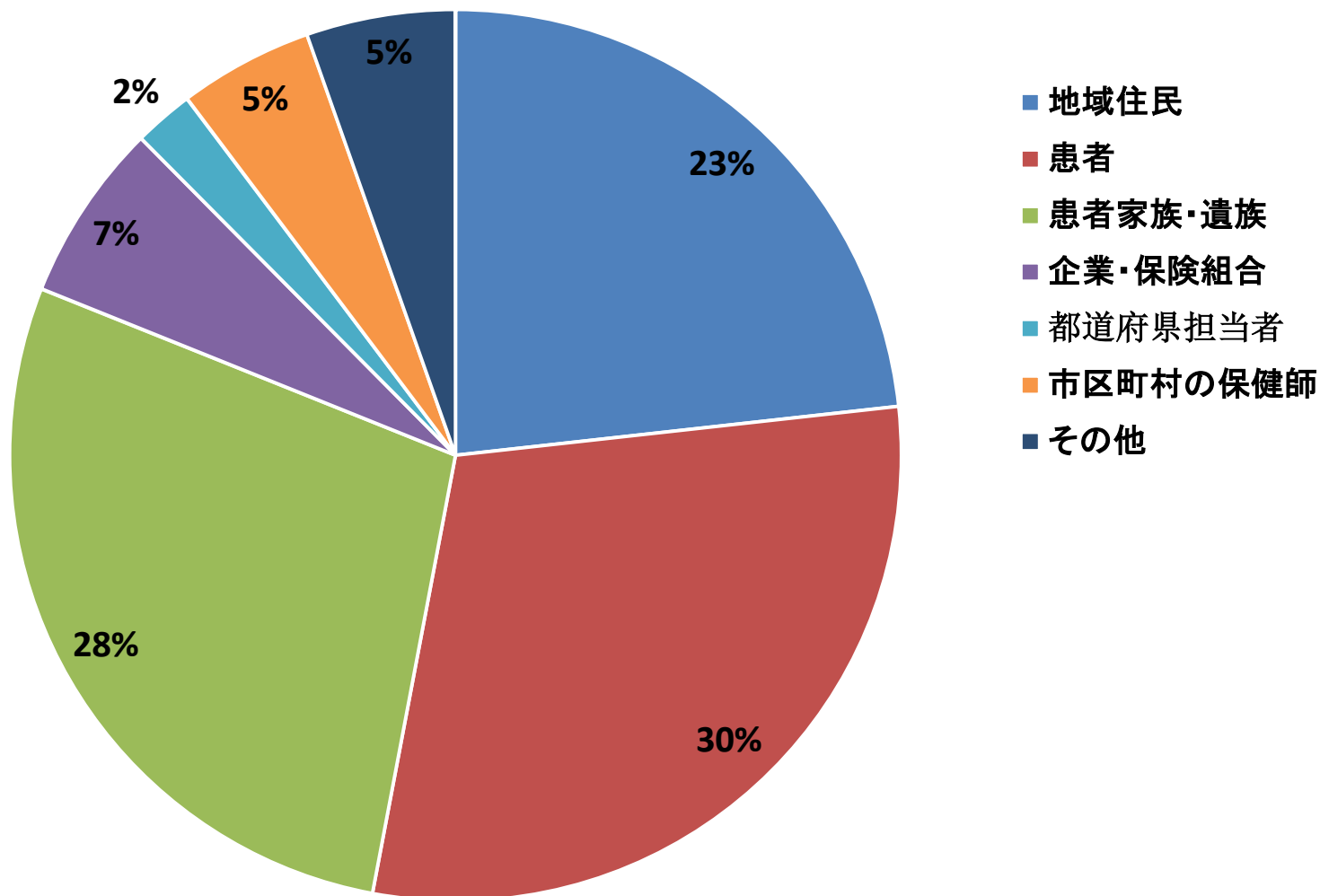
平成30年度

令和元年度



Research Center for Hepatitis and Immunology
National Center for Global Health and Medicine

肝臓病教室の参加者内訳 (複数回答)



市民公開講座実施回数

施設数

70

60

50

40

30

20

10

0

3回以上

2回

1回

平成22年度 平成23年度 平成24年度 平成25年度 平成26年度 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 令和元年度

24

13

9

34

18

7

42

8

8

44

6

6

40

11

9

40

12

9

35

19

9

37

15

10

43

11

9

45

10

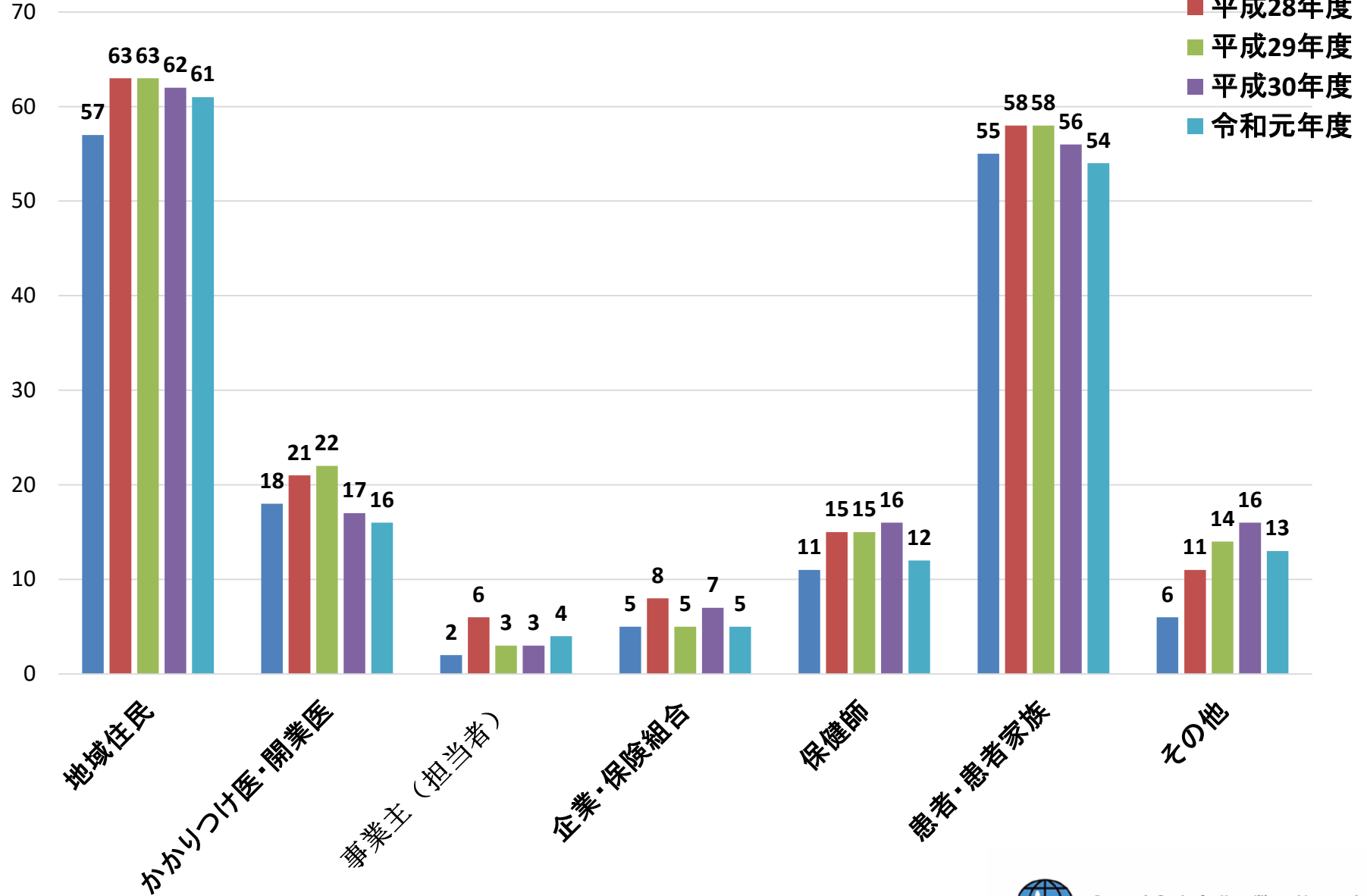
8



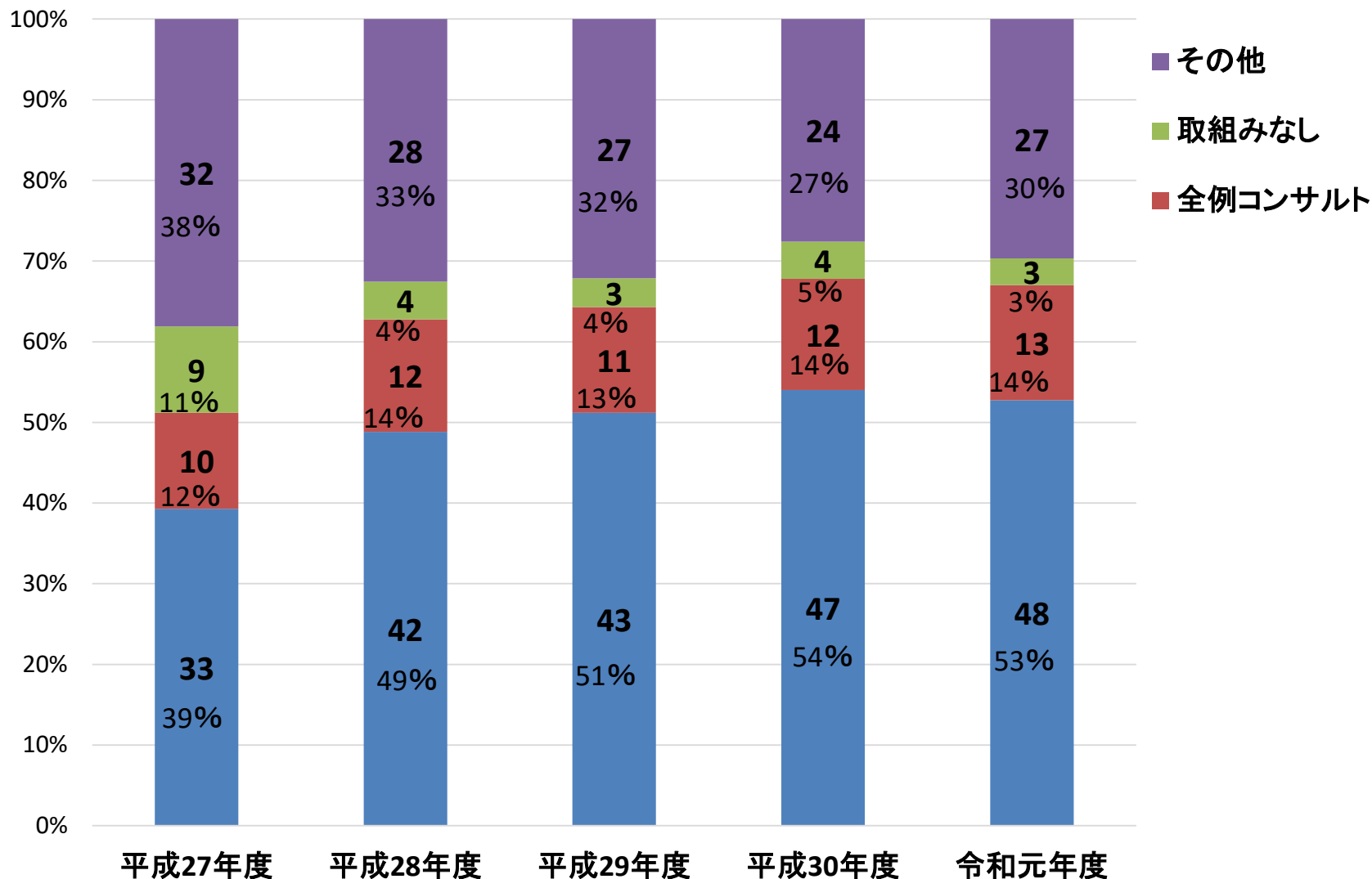
Research Center for Hepatitis and Immunology
National Center for Global Health and Medicine

市民公開講座 参加者 (複数回答)

施設数



陽性者注意喚起・受診勧奨の取組み (複数回答)



日本の肝炎政策の歴史と現状, 肝疾患診療連携拠点 病院の活動に関する英語論文 - Special Reports in *Hepatology Research*



Hepatology Research 2017

doi: 10.1111/hepr.12897

Special Report

Current activities and future directions of comprehensive hepatitis control measures in Japan: The supportive role of the Hepatitis Information Center in building a solid foundation

Noriko Oza,^{1*} Hiroshi Isoda,^{2*} Toshiki Ono² and Tatsuya Kanto¹

¹Hepatitis Information Center, The Research Center for Hepatitis and Immunology, National Center for Global Health and Medicine, Ichikawa, ²Office for Promotion of Hepatitis Measures, Cancer and Disease Control Division, Health Service Bureau, Ministry of Health, Labour and Welfare, Tokyo, Japan

In Japan, hepatitis B or C virus infection has been a major health issue. For the prevention of liver-related deaths, multifaceted strategies have been taken against hepatitis virus. In fiscal year (FY) 2002, nationwide screening for hepatitis was started as a part of health examinations provided by municipal governments. From FY2007, the hepatitis treatment network has been strengthened by the nationwide establishment of regional government-based hepatitis treatment systems, comprising linked regional core centers, specialized institutions for hepatitis treatment, primary care physicians, and regional governments. Special subsidy program for patients with viral hepatitis was started at FY2008. The range of coverage has been expanding

Control Measures for hepatitis was issued in 2011, comprising nine principles in order to promote measures for hepatitis B and C. The Hepatitis Information Center was established in 2008. Its mission is to provide up-to-date hepatitis-related information, supporting collaboration between regional core centers, and training medical personnel. The revision of the above-mentioned Basic Guidelines in 2016 set the target as the reduction of patients progressing to cirrhosis and/or liver cancer. Achieving this goal definitely requires active collaboration among the national and local governments, regional core centers, and the Hepatitis Information Center, and participation by medical personnel, patients, and people with awareness.

Oza N, Kanto T, et al. *Hepatol Res* 2017

Hepatology Research 2019

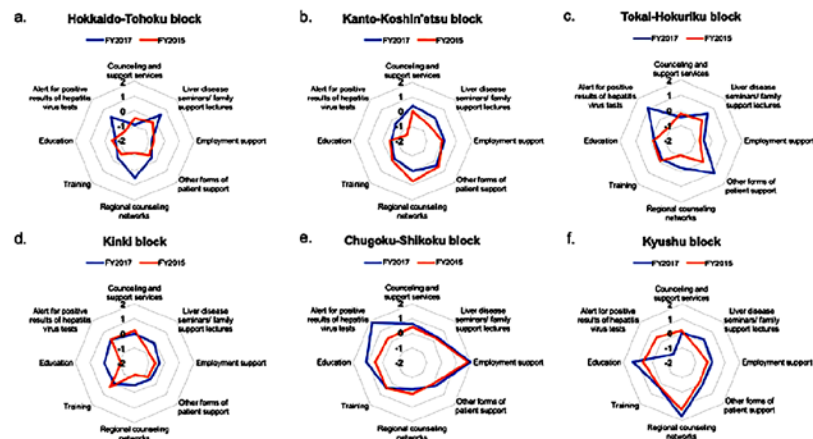
doi: 10.1111/hepr.13458

Special Report

Nationwide survey on activities of regional core centers for the management of liver disease in Japan: Cumulative analyses by the Hepatitis Information Center 2009–2017

Hiroko Setoyama,^{1,2,3} Masaaki Korenaga,¹ Yuko Kitayama,¹ Noriko Oza,^{1,4} Naohiko Masaki⁵ and Tatsuya Kanto¹

¹Hepatitis Information Center, Research Center for Hepatitis and Immunology, and ²Department of Clinical Laboratory, National Center for Global Health and Medicine, ³Department of Gastroenterology and Hepatology, Kumamoto Rosai Hospital, ⁴Department of Gastroenterology and Hepatology, Graduate School of Medical Sciences, Kumamoto University, and ⁵Department of Hepatobiliary and Pancreatology, Saga-Ken Medical Center Koseikan



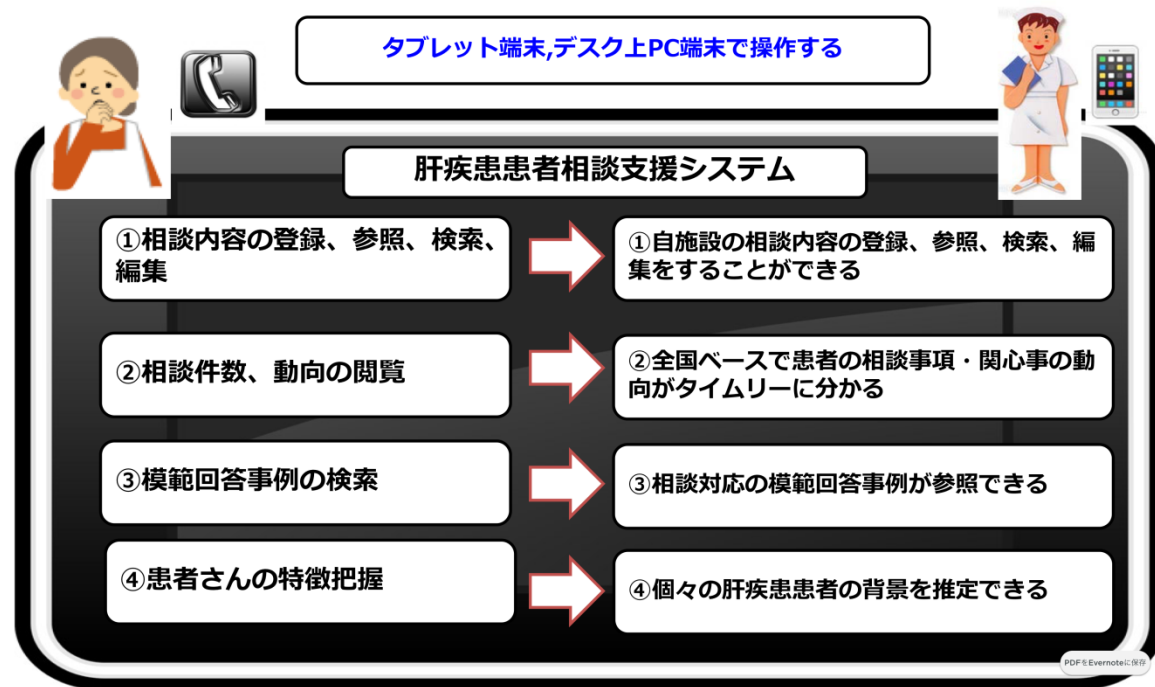
Setoyama H, Kanto T, et al. *Hepatol Res* 2019



肝疾患患者相談支援システム

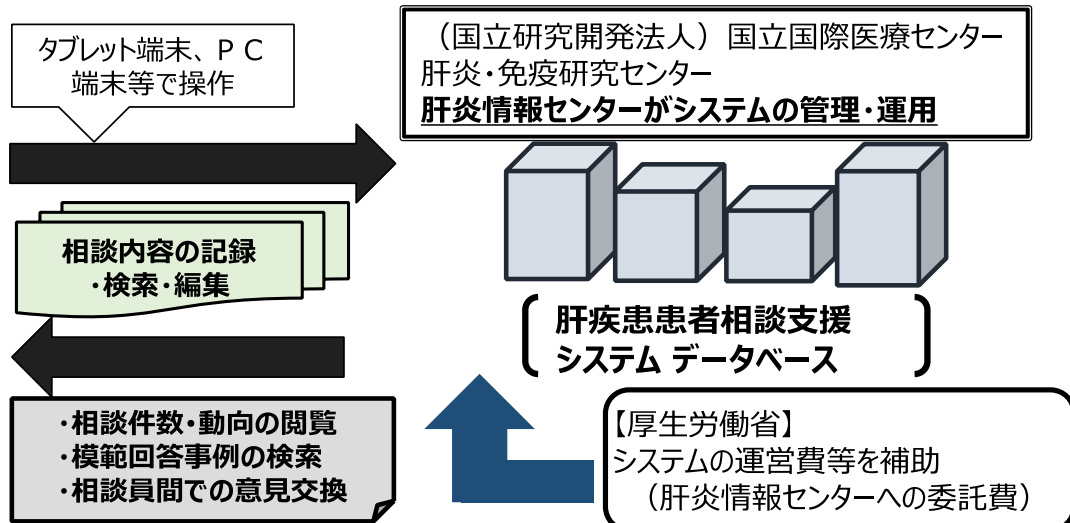
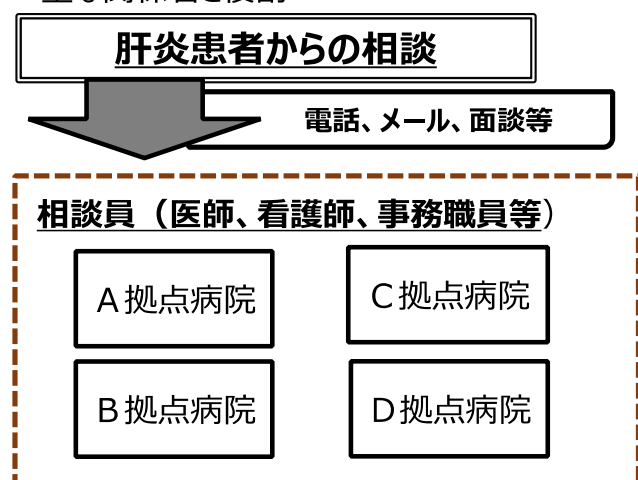
- ・ H30年度導入済
- ・ 拠点病院相談員利用
- ・ 相談件数・内容登録
- ・ 拠点病院現状調査として活用
- ・ 困った事例の相談
- ・ 好事例の紹介
- ・ マンスリーレポート

肝疾患患者相談支援システムの概要



平成28年度第1回医師向け研修会資料（八橋 弘先生）

■ 主な関係者と役割



平成29年度肝炎対策地域ブロック会議資料

令和3年度の活動

肝炎情報センター

- 情報発信

ホームページ・コンテンツの充実
肝炎医療ナビゲーションシステム（肝ナビ）運用
肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業（指定医療機関）への対応

- 連携強化

拠点病院活動現状調査
肝炎対策地域ブロック

- 研修充実

研修会の充実とアーカイブ資料提供
肝疾患患者相談支援システム運用

- 肝炎情報センターHP
- 肝ナビ
- 相談支援システム

積極的なご利用をお願いいたします。
ご要望やご意見, お待ちしております。